

## 器楽の愉しみ～18世紀の器楽曲～

1. 日 時： 2026年5月29日(金) 4限
2. 場 所： F-434 学内他聴講可
3. 対象学生(必修)： 金/2「西洋音楽史概説A」受講生  
月/2「音楽史(世界と日本の音楽を考える)」受講生
4. 講師紹介： 井幡万友美、上田牧子、京谷政樹、村田佳生 (演奏)  
能登原由美 (企画・司会進行)

### ＜井幡万友美＞

京都市立堀川高校音楽コース、同志社女子大学学芸学部音楽学科チェンバロ専攻を卒業、1990年国際ロータリー財団奨学金及びUGS奨学金を受け、米国シンシナティ大学音楽学部大学院コース留学。1994年アーティストディプロマを取得し帰国。同年ソロリサイタルを行い演奏活動を開始。以後国内及びスイス、フランス、ルクセンブルグ、ドイツなど海外においてソロリサイタル、オーケストラとの共演、室内楽、サロンコンサートに出演、2012年ACUSTICA Records(ドイツ)と契約、「J.S.Bach」をリリース。第13回大阪国際音楽コンクールアーリーミュージック(古楽)部門第1位及び特別賞。2023年Music Lab.48番館チェンバロサロン設立。大阪音楽大学講師。Les Baroquennesチェンバロ奏者。

### ＜上田牧子＞

大阪音楽大学作曲学科楽理(音楽学)専攻卒。在学中よりヴィオラ・ダ・ガンバと古楽アンサンブルを坂本利文氏に師事。関西を中心にソリスト、及びアンサンブル奏者として演奏、録音活動を行っている。現在、大阪音楽大学非常勤講師。《オルティス・コンソート～2023》《ル・ティサージュ》各メンバー。日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会会員。

### ＜京谷政樹＞

音楽学者を志し、大阪音楽大学音楽学専攻へ入学。必修科目でチェンバロと出会い、英国王立ウェールズ音楽演劇大学古楽科にて学ぶ機会を得る。大阪音楽大学音楽学研究室修了後、大阪音楽大学助手を経て、現在、大阪音楽大学講師。

### ＜村田佳生＞

大阪音楽大学楽理専攻卒業。アムステルダム音楽院リコーダー科卒業。リコーダーを彌永壽子、北山隆、花岡和生、サスキア・コーレン、ジャネット・ファン・ヴィンガーデン各氏に師事。関西を拠点に、近年はテレマン室内オーケストラや日本古楽アカデミーとも数多く共演している。CDに『ジャン・バティスト・レイエ・ドゥ・ガン リコーダーソナタ選集』など。「スーパーリコーダーカルテット」メンバー。大阪音楽大学非常勤講師(器楽合奏(リコーダー)&ll、西洋古楽演奏演習B)。

### ＜能登原由美＞ 企画・司会進行

広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了。専門は音楽学・西洋音楽史。「ヒロシマ」の音楽(カタストロフィと音楽)、広島洋楽受容史、イギリス音楽史を研究。各音楽誌において音楽批評を執筆。大阪音楽大学特任教授(西洋音楽史)。

### 5. 講 義 概 要：

バロック時代に盛んになった楽器と器楽曲に焦点を当てるレクチャー・コンサート。今回は、リコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロ、クラヴィコードを取り上げ、各楽器の構造や性質などを紹介するとともに、その魅力を伝える楽曲の演奏を通して、楽器とその様式についての理解を深める。また、同時期に盛んになった器楽アンサンブルにも注目し、合奏様式の発展についての理解も深める。具体的な曲目は下記。

G.F.ヘンデル	ソナタ 変ロ長調 HWV377
B.マルチェッロ	ソナタ ハ長調
F.クーラン	クラヴサン曲集 第3巻より「L'aimable
G.フレスコバルディ	トッカータ短調
C.P.E.バッハ	ソナタ ニ短調 Wq.63/2
G.P.テレマン	トリオ 変ロ長調 TWV42:B4(Essercizii Musici より)